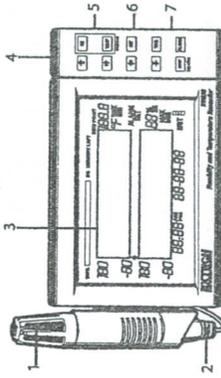


はじめに  
このたびは本商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。正しく末長くご愛用くださいますようお願いいたします。

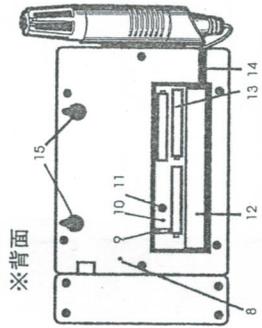
## 各部の名称

※正面

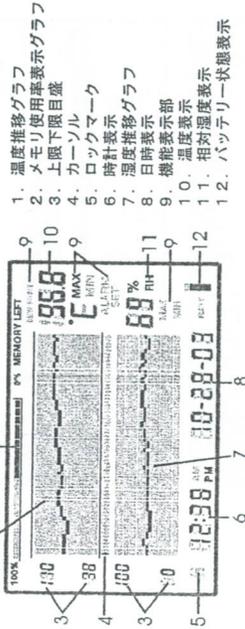


1. 温湿度センサー
2. センサーケーブル
3. LCDディスプレイ
4. キーパッド兼スタンド
5. PCインターフェースジャック
6. アラームモジュールジャック
7. ACアダプタジャック
8. テータリセットボタン
9. 温度表示単位切り替えスイッチ
10. プログラムリセットスイッチ
11. ディストレイアウトラスト調節スイッチ
12. センサーケーブル収納部
13. 電池ボックス
14. センサーケーブル
15. 壁掛け用穴

※背面の図はフタをはずした状態です。



## 表示内容説明



1. 温度推移グラフ
2. メモリ使用率表示グラフ
3. 上限下限目盛
4. カーソル
5. ロックマーク
6. 時計表示
7. 湿度推移グラフ
8. 日時表示
9. 機能表示部
10. 温度表示
11. 相対湿度表示
12. バッテリー状態表示

## キーパッド部説明

標準画面に戻します。各種設定画面から確定せずに戻します。各々の測定値MAX/MIN値を表示します。



警報値の表示、セットを行います。



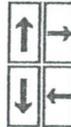
指定された時点での測定値を表示します。サンプリングレートを表示、設定します。時刻、日時の設定をします。



各種設定時の値確定時に押します。



他のボタンと組み合わせ、表示範囲や警報値の設定、結露温度表示などを行います。



カーソルの移動や表示データのスクロールを行います。

## 使用前準備

### 電源の投入

1. 本器は電池（単三型乾電池3本）、または付属専用ACアダプタ（DC4.5V 300mA）にて動作します。電池で使用する場合には極性に注意して乾電池を正しく装着します。付属のACアダプタを使用した場合、装着された乾電池は緊急用のバックアップ電池として働きます。
2. 電池またはACアダプタ装着と同時に本器は動作開始します。
3. ACアダプタの取り外し、あるいは電池取替えなどを行うと測定条件や時刻、表示方法などの設定がリセットされます。この場合には本体背面のプログラムリセットスイッチを押して、初期設定を一旦リセットし、再度設定してください。
- ※このとき記録された測定データは初期化されません。
5. 表示画面中の5段階表示バッテリーインジケータによって、装着中の電池の消耗度合いがわかります。5段階とも黒く表示されているときは、電池が十分に充電されています。最後の1段になった場合には速やかに新しい電池とお取替えてください。

## 設置

1. 本器はスタンドを用いた初上への設置、あるいは背面の壁掛け用穴を用い、壁面にぶら下げることでできます。また装着されている温湿度センサーは最大1m延長することができます。用途に応じて使い分けてください。

ボタン操作ロック

誤った操作や、不意な事故などによる設定変更を防ぐために、本器には操作ボタンのロック（操作無効指定）ができます。

1. 矢印ボタン3つ（UP、DOWN、LEFT）とSETボタンを同時に約一秒間押すと、画面左下にロックマークが表示され、全てのボタン操作が無効になります。
2. 再度矢印ボタン3つ（UP、DOWN、LEFT）とSETボタンを同時に約1秒間押すとロックマークが消え、操作が有効になります。

## ※ご注意

この機能は基準画面表示時のみに設定可能です。VIEWボタンを押して基準画面に戻してから設定、解除してください。

## ●ご使用前の各種設定

### ●時刻設定 **SET** + **TIME**

1. 基本画面表示時にSETボタンとTIMEボタンを同時に押すと、時刻設定モードになり、画面上にSETインジケータが表示されます。
2. ↑↓←→ボタンを押して現在時刻にあわせれます。  
表示内容は左から順に、時、分、AM/PM/24時間表示、日、月、年(西暦の下2桁)です。
3. SETボタンを押して確定します。
4. VIEWボタンを押して、基本画面に戻ります。

### ●内部メモリのリセット (RESET、DATA RESET)

背面電池ボックス内にあるリセットボタン (RESET) を押すと内部に記録されている測定、表示に関するパラメーター (サンプリングレート、表示分解能) がリセットされます。  
また、本体背面にあるデータリセットボタン (DATA RESET) を押すと、記録された EXTERM た全ての測定データ、MAX/MIN 値、警報値がリセットされます。

### ●表示温度単位の選定

本器は温度表示単位を°C、あるいはFのどちらから選択することができます。本体背面の電池ボックス内にある表示単位切り替えスイッチを操作して、希望する温度表示単位にセッします。

### ●画面上表示単位の設定

下記手順により表示画面の温度、湿度表示範囲の設定を行います。

### **SET** + **TEMP** + **↑**

※温度表示部の設定

1. SETボタン、TEMPボタン、および↑ボタンを同時に押します。
2. 最初に温度表示の上限を設定になります。上段値が点滅します。↑↓ボタンを使用し、希望する値にあわせてTEMPボタンを押して、確定します。
3. 次に温度表示の下限設定になります。同様に↑↓ボタンを使用し、希望する値にあわせてTEMPボタンを押して、確定します。
4. 最後にSETボタンを押して完了します。

### **SET** + **RH** + **↑**

※湿度表示部の設定

1. SETボタン、RHボタン、および↑ボタンを同時に押します。
2. 最初に湿度表示の上限設定になります。上段値が点滅しますので、↑↓ボタンを使用し、希望する値にあわせてRHボタンを押して、確定します。
3. 次に温度表示の下限設定になります。同様に↑↓ボタンを使用し、希望する値にあわせてRHボタンを押して、確定します。
4. 最後にSETボタンを押して完了します。

## ●サンプリングレート設定 **SET** + **VIEW** + **TIME**

自動的に測定、記録されるサンプリングレート (測定記録間隔) を下記手順により設定します。

1. SETボタン、VIEWボタン、およびTIMEボタンを同時に押します。
2. 画面上の温度表示部に現在のサンプリングタイムが点滅表示されます。
3. ↑↓←→ボタンを押して希望する間隔時間 (分) に合わせます。最小0.1分~最大199.9分までです。最下段にはそのサンプリングタイムに対する最大記録可能時間が表示されます (時、分、月、日、年)。
4. 設定が終わったらSETボタンを押して、確定します。

### ●上下限警報値の設定

温度、湿度各々の上限値、下限値を設定し、それを越えた状態を警報状態として警報音 (ピープ音) を鳴らし、履歴を残すことができます。

### ※温度警報設定 **SET** + **TEMP** + **ALARM**

1. SETボタン、TEMPボタン、およびALARMボタンを同時に押します。
2. 右段の温度表示が点滅し、画面上に“ALARM”、“SET”、“MAX”インジケータが表示され、上限警報温度設定状態になります。
3. ↑↓←→ボタンを押して希望する温度に設定し、ALARMボタンを押します。
4. 次に“ALARM”、“SET”、“MIN”インジケータが表示され、下限警報温度設定状態になります。
5. 同じく↑↓←→ボタンを押して希望する温度に設定し、ALARMボタンを押します。
6. 最後にSETボタンを押して、確定します (通常表示画面に戻ります)。

### ※湿度警報設定 **SET** + **RH** + **ALARM**

1. SETボタン、RHボタン、およびALARMボタンを同時に押します。
2. 右段の湿度表示が点滅し、画面上に“ALARM”、“SET”、“MAX”インジケータが表示され、上限警報湿度設定状態になります。
3. ↑↓←→ボタンを押して希望する湿度に設定し、ALARMボタンを押します。
4. 次に“ALARM”、“SET”、“MIN”インジケータが表示され、下限警報湿度設定状態になります。
5. 同じく↑↓←→ボタンを押して希望する湿度に設定し、ALARMボタンを押します。
6. 最後にSETボタンを押して、確定します (通常表示画面に戻ります)。

### ※ご注意

上限警報値、下限警報値はオーバーラップできません。必ず上限値が上、下限値が下になるように設定してください。

## ●画面表示

### ●標準表示画面 **VIEW**

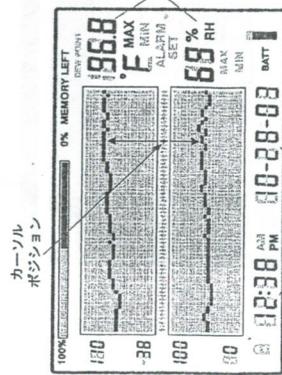
最も基本となる表示画面です。いかなる場合でもVIEWボタンを押すことにより、この画面に移ります。また、約5分間何のボタン操作もなかった場合にもこの画面に移ります。

### ●カーソル移動と過去データの表示 **↑** **↓** **←** **→**

温度表示グラフと湿度表示グラフの間にあるダイヤモンド型のマークがカーソルです。

標準画面ではカーソルが一番左に位置し、現在時点を示します。←→ボタンを押すことにより、カーソルが左右に移動し、測定記録された時点でのデータを表示させることができます。カーソルが右に移動するにつれ順々に過去の記録にさかのぼります (最下段に、カーソルのある時点の時刻、日付が表示されます)。

↑↓ボタンを押すことにより、64回分の記録データを一気にスクロールさせることができます。

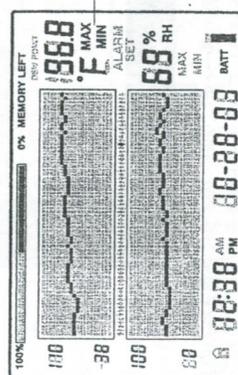


カーソルがある時点の時刻、日付

### ●MAX/MIN 値の表示 **VIEW**

過去に記録された全データの中での最大値 (MAX 値)、および最小値 (MIN 値) を各々表示させることができます。

標準画面においてVIEWボタンを順次押すと、上段下段の温度、湿度表示部下にMAX、あるいはMINインジケータが表示され、記録された時点にカーソルが移動し、その時点での温度湿度の最大値 (MAX)、最小値 (MIN) が表示されます。

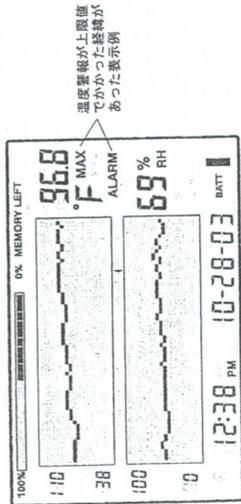


表示対象なる方  
MAXあるいはMIN  
マークが表示され  
ます

## ● 警報表示 ALARM

基準画面においてALARMボタンを押すと、直近の警報状態が表示されます（警報状態になった履歴があった場合のみ）。

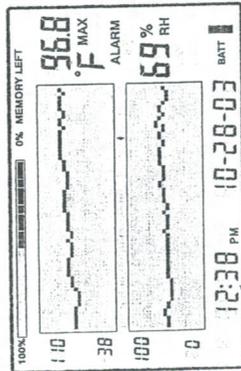
1. ALARMボタンを押すと、最も直近の警報履歴の時点にカーソルが移動し、その時刻と警報の内容（温度、湿度、MAX、MIN）が表示されます。
2. 再度ALARMボタンを押すとその次の警報時点にカーソルが移動し、同様の内容を表示します。
3. 次にALARMボタンを押すとさかのぼって表示しますが、それ以上の履歴がない場合は基本画面に戻ります。



## ● 指定時刻の記録表示 TIME

指定された日時、時刻の情報をダイレクトに呼び出すことができます。

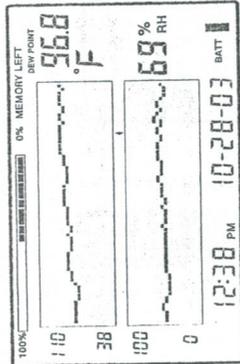
1. 基本画面表示時にTIMEボタンを押します。
2. 最下段の時刻/日時表示部が点滅しますので、↑↓←→ボタンを押して希望する日時にあわせると、その時点にカーソルが移動し、データが表示されます。
3. VIEWボタンを押すと基本画面に戻ります。



## ● 結露温度表示 TEMP + RH

基本画面表示時にTEMPボタンとRHボタンを同時に押すことにより、表示画面右上部にDEW POINTと表示され、結露温度が表示されます。

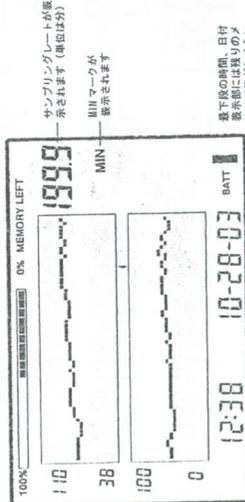
VIEWボタンを押すことで基本表示画面に戻ります。



## ● サンプリングレート表示 VIEW + TIME

現在のサンプリングレートを表示、確認することができます。

1. VIEWボタンとTIMEボタンを同時に押します。
2. 表示部右上部にサンプリングレートが表示されます（単位は分）
3. さらに最下段にはその時点でのメモリ残量とサンプリングレートとどれくらい記録が可能かが示されます。
4. サンプリングレートを変更するには「●サンプリングレートの設定」項をご参照ください。
5. VIEWボタンを押すことにより基本画面に戻ります。



## ● 警報状態の表示

基準表示画面表示中に、ALARMマークが点滅していたら、過去に温度、あるいは湿度の上限、下限警報になった履歴があり、未確認であることを示します。

ALARMマークが点灯していたら、確認済みの警報履歴があることを示します。全ての履歴を確認するとALARMマークは点滅状態から点灯状態に変わります。あるいは下限を越すとビーブ音が鳴り、いずれの警報でも上限、あるいはよりビーブ音が止まります。ALARMボタンを押すことによりビーブ音が止まります。ALARMマークが点滅、あるいは点灯している状態で、ALARMボタンを順次押すか、カーソルボタンを押すことで、過去履歴を参照することができます。

## ● 初期設定

● 工場初期設定  
本器の工場初期設定は下記の通りです。

- 初期画面：基本表示画面
- 温度表示グラフ目盛：0 ~ 100F
- 湿度表示グラフ目盛：0 ~ 100%
- 温度、湿度警報値：下限値 0、上限値 100
- サンプリングレート：1分毎

## ● メンテナンス

### ● 電池の交換

画面上の電池アイコンの残量が1目盛になると電池が切れかけていることを示します。内部メモリのバックアップのためにも新しい電池との交換をおすすめします。

1. 本体背面の電池収納部フタを開けます。
2. 電池の極性に注意しながら、新しい単三型アルカリ乾電池3本と交換します。
3. ACアダプタを接続せずに乾電池を交換すると、全ての設定値（日時、時刻、サンプリングタイム）がリセットされます。

念のために電池収納部横のRESETボタンを押して一旦リセットしたあと、新たに設定しなおしてください。  
但し、記録された温度、湿度データは消去されません（初期化が必要な場合はDATA RESETを押してください）。

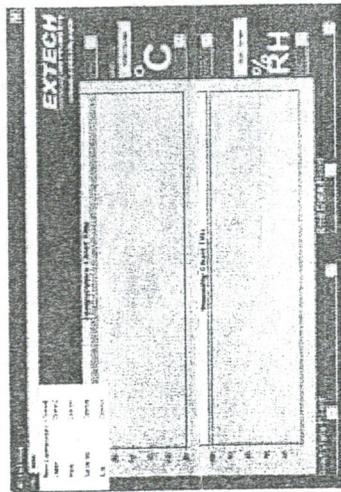
●記録データの外部出力  
付属のデータ出力プログラムを使用すると、本器に蓄積された記録データをコンピュータに取り込むことができます。

●EXTERM プログラムのインストール  
はじめに、付属の EXTERM プログラムを下記手順にて PC にインストールします。  
※インストール時の注意  
・プログラムのインストール時、あるいはデータ転送時には他のプログラムを全て閉じてください。

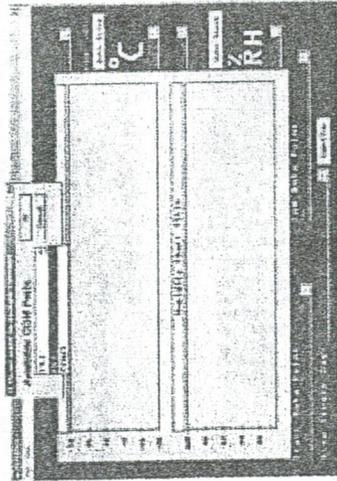
1. ソフトウェア CD を PC にセットし、プログラム内の "setup.exe" を起動します。
2. 必要であればインストールするディレクトリを指定し、実行します。

※RH520 本体と PC との接続は、プログラム上で指示があるままでは行わないでください。

●プログラムの起動  
インストールされた EXTERM プログラムをクリックし、起動します。

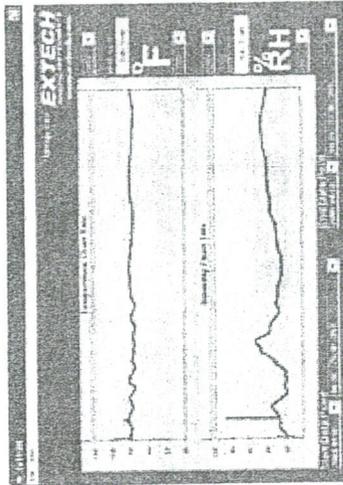


1. FILE メニューの "NEW CONNECTION" を選択します。

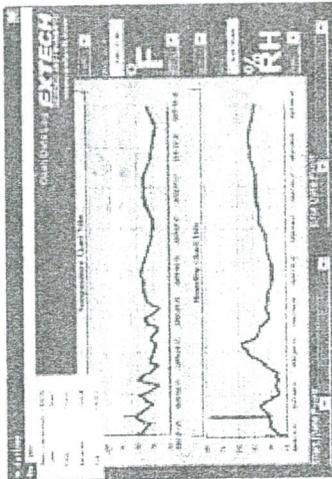


2. 選択可能なシリアルポートが "COM1" のように表示されるので、シリアルケーブルを接続しているポート番号を選択し、"OK" を押し戻します。
3. 過去にセーブされたデータを読み込みする場合には "FILE" を選択し、読み込みたいファイル名を選択します。

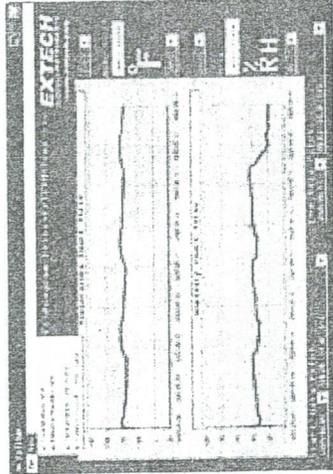
4. 画面上に上記サインが出たら本器とシリアルケーブルを接続します。
5. 接続されると自動的に蓄積された本器内のメモリのデータが PC 内に取り込まれます。途中でやめる場合には "Stop Data Transfer" を押します。



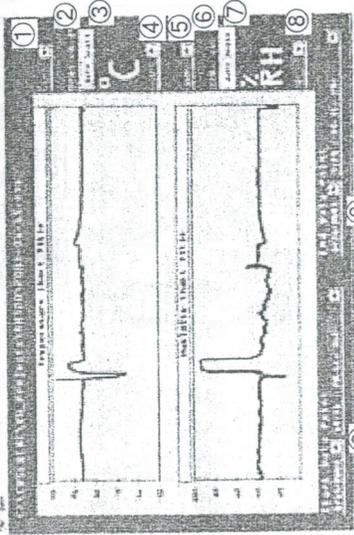
6. 上記図のように取り込まれたデータが表示されます。



7. 取り込まれたデータを保存する場合には、FILE メニューから "Save As..." を選択し、ファイル名を付けて保存します。  
保存形式は CSV 形式です。



8. 必要に応じて、画面上のグリッドを表示したり、タイムスタンプを表示させたりすることができます。



- ① 温度表示範囲の MAX 値を設定します。
- ② 最大最小値を表示します。
- ③ 温度オートスケールを実行します。
- ④ 温度表示範囲の MIN 値を設定します。
- ⑤ 湿度表示範囲の MAX 値を設定します。
- ⑥ 最大最小値を表示します。
- ⑦ 湿度オートスケールを実行します。
- ⑧ 湿度表示範囲の MIN 値を設定します。
- ⑨ 表示範囲の開始点、終了点を設定します。

表示	大型バックライト機能付き LCD
温度測定範囲	-28~60°C (-20~140.0°F)
湿度測定範囲	10~95%
露点温度表示範囲	-28~60°C (-20~140.0°F)
測定精度	±3.0%RH、1°C (1.8°F)
記録可能データ数	最大 49,152 ポイント
サンプリング時間	0.1分 (6秒) ~ 199.9分
表示スケール	5°C 単位
電池残量表示	5段階
電源	単三乾電池3本、付属 ACアダプタ
電池寿命	約4週間 (アルカリ電池の場合)
使用温度湿度範囲	0~50°C、最大 90%RH (本体) -28~60°C、最大 95%RH (センサー)
本体寸法、重量	127 x 196 x 23mm、357g

**保証規定**  
 ・正格な使用状態において故障が生じた場合、お買い上げ日より1年間無償修理いたします。次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。  
 ●本器の修理・改造による故障。  
 ●本器の修理・改造による他の機器が原因による故障。  
 ●車両・船舶等での使用による故障。  
 ●本器設置の事前確認が不足した場合、及び保証書の日付、購入店名の記入がない場合、及び保証書の貼付がない場合。  
 ●購入品本体の保証書に添付されている保証書と、ご購入品により保証される機器とは、ご返金に関する限りは別です。  
 ・本保証書は日本国内においてのみ有効です。

**保証書**  
 本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に正常な使用状態で故障の際は、左記保証規定により修理致します。

品名	データロガー付き温度湿度記録計
型式	RH520
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ	年 月
お名前	
ご住所	
お電話番号	TEL
住所	TEL

商品に関するお問い合わせは、弊社「カスタマー相談センター」のフリーダイヤルにお電話ください。  
 相談センター  
 0120-700-875  
 0120-700-763  
 9:00~12:00・13:00~17:30  
 (土・日・祝日及び当社休業日を除く)  
**アズワン株式会社** 初版 2006年9月作成  
 発売元

ソフトウェア ユーザーガイド

対訳

**EXTECH**<sup>®</sup>  
**INSTRUMENTS**  
A FLIR COMPANY



## RH520 ソフトウェア

データロガー付き温湿度計 RH520 のご使用のために

### 目次

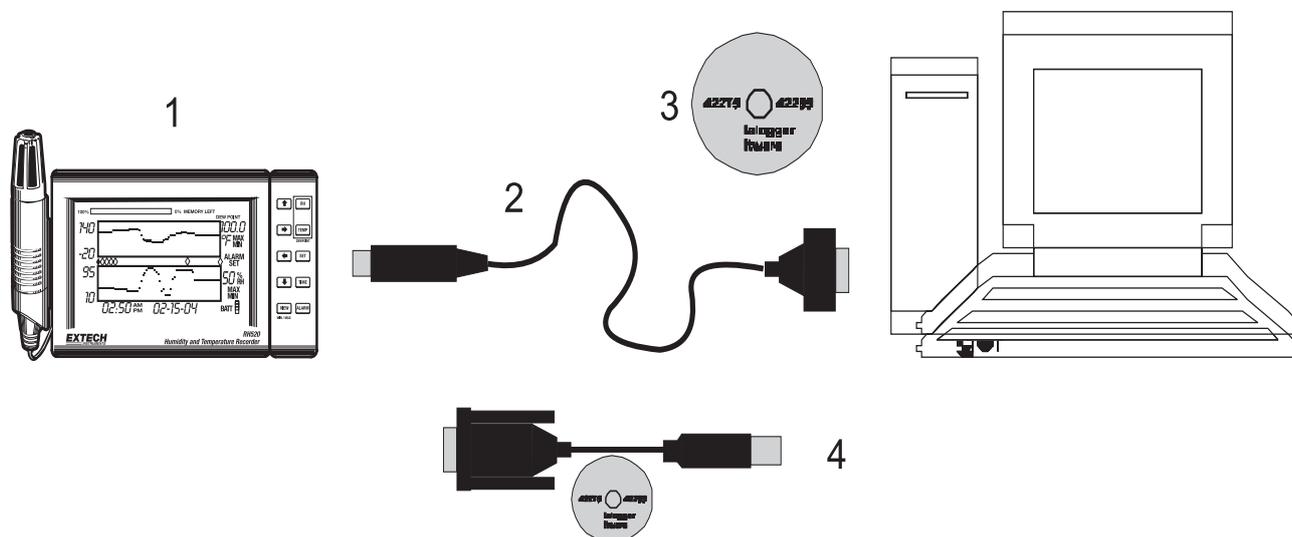
章	題目
1.	イントロダクション
2.	ソフトウェアインストール
3.	アプリケーションの実行
4.	コントロールタブ
5.	データタブ
6.	グラフタブ
7.	データのダウンロード
8.	保存データのオープン
9.	<b>USB</b> コンバータ

## 1. イントロダクション

データロガー付き温湿度計 RH520 をご購入いただきありがとうございます。付属のソフトウェアにより、PC に最大 49,000 点の温度、湿度データをダウンロード、表示、保存できます。データは xls か txt 形式のどちらかで保存できます。ソフトウェアにより Dew Point、Mix Ratio、Wet Bulb が計算され表示されます。

システム構成：

1. RH520 チャートレコーダー
2. RH520 から RS232 への変換ケーブル(RH520-ケーブル)
3. RH520 ソフトウェア
4. RS232 から USB への変換アダプターとソフトウェア



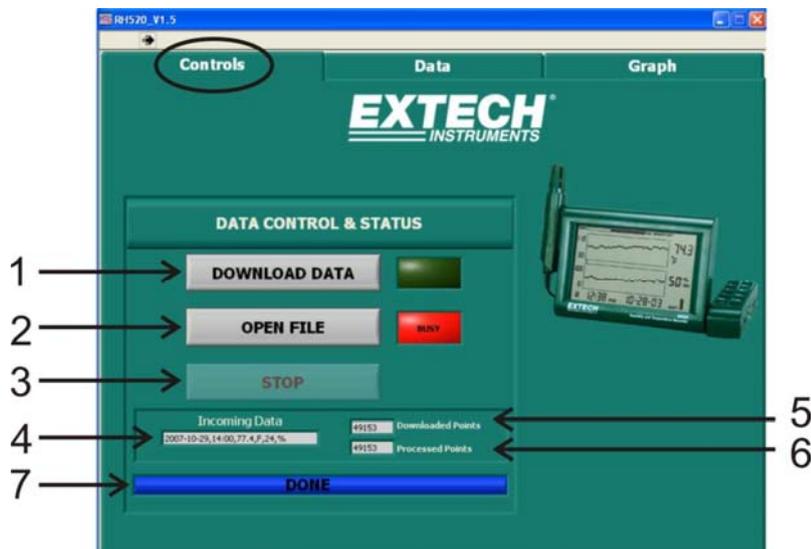
## 2. ソフトウェアインストール

- a. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
- b. ソフトウェアは数分後に自動開始します。  
プログラムが自動開始しない場合、CD ドライブ内の **setup.exe** をクリックして実行してください。
- c. 画面上の指示に従いインストール作業を行ってください

## 3. アプリケーションの実行

- a. デスクトップ上の RH520 ソフトウェアアイコン  をクリックしてください。  
またはアプリケーションを下記フォルダー内に置いてください。  
'START\all programs\RH520-Software\RH520'
- b. アプリケーションのメインコントロールウィンドウが立ち上がります。

## 4. Controls タブ



- 1. DOWNLOAD DATA**  
データダウンロードウィザードが開始されます。
- 2. OPEN FILE**  
されたファイルを開くことができるようにブラウザウィンドウを開けます。
- 3. STOP**  
データダウンロードが始まった後 'STOP ボタン'が使用可能になります。これにより完了前にダウンロードを始めることを防ぎます。この STOP ボタンが押されるまでのデータが、処理、表示そしてグラフ化されます。データダウンロードが完了前に中断されると、データの再生は不可能です。
- 4. Incoming Data**  
この部分には入力されてくる計測データを表示します。
- 5. Downloaded Points**  
ダウンロードされたポイントをカウントします。
- 6. Processed Points**  
データ処理されたポイントをカウントします。
- 7. Progress バー**  
アプリケーションの実行状況をグラフィックで表示します。  
オレンジ色はダウンロード中  
青色はデータ処理中

## 5 Data タブ

### 1. Designation Row

この列はコラムのデータの名称を表示します。

### 2. Unit Row

この列はコラムのデータ個別の単位を表示します。単位は RH520 での設定時に決めます。

### 3. Data Window

この窓はすべてのダウンロードされたデータを含んでいます。

### 4. File Path

使用中のファイル名とディレクトリを表示します。

1 →

2 ←

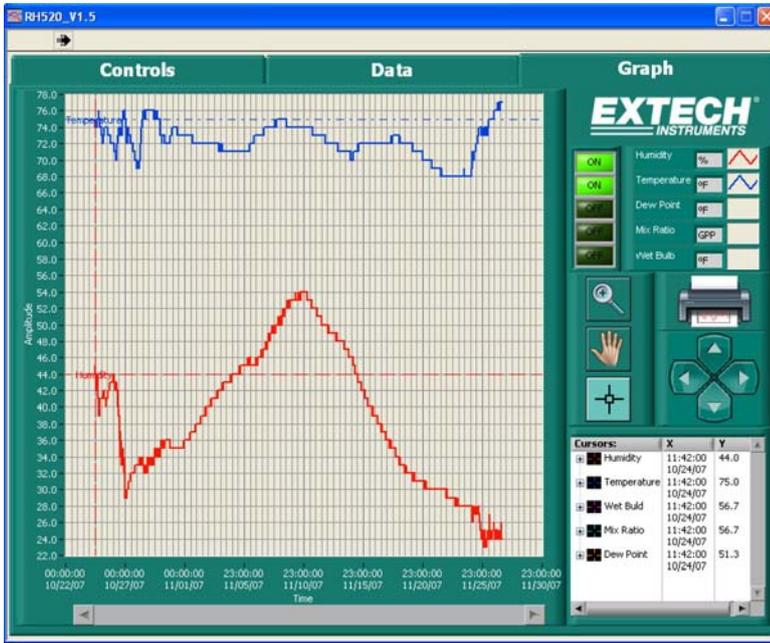
3 →

4 →

DATE	TIME	TEMP	DEW POINT	WET BULB	MIXING RATIO	RH
		°F	°F	°F	GPP	%
24-10-2007	11:42:00	75.2	51	60	57	44
24-10-2007	11:43:00	75.2	51	60	57	44
24-10-2007	11:44:00	75.1	51	60	57	44
24-10-2007	11:45:00	75.0	51	60	57	44
24-10-2007	11:46:00	75.0	51	60	57	44
24-10-2007	11:47:00	74.9	50	60	55	44
24-10-2007	11:48:00	74.9	50	60	55	44
24-10-2007	11:49:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:50:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:51:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:52:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:53:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:54:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:55:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:56:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:57:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:58:00	74.8	50	60	55	44
24-10-2007	11:59:00	74.7	50	60	55	44

(RH520)Downloads\rh520\_DWNLD\_2-11-2008\_12-24 PM...xls

## 6. Graph タブ



### Graph ウィンドウ

同時に 5 つのグラフまでの表示(Humidity、Temperature、Dew Point、Mixing Ratio、Wet Bulb)

### 垂直スケール

表示されている全てのグラフ共通の単位なしスケール

### 水平スケール

データの取得時間を表示(RH520 のサンプルレートと直接関係)

### カーソルクロスヘア

グラフ毎にひとつのカーソルを表示。グラフのトレースと各点での数値を読み取るのにカーソルを使用できます。



### 4 方向キーパッド

このパッドで 1 ステップ毎のカーソルクロスヘアの移動ができます。



### クロスヘアボタン

このボタンを選択して、直接グラフ上にカーソルクロスヘアを移動できます。



### パンボタン

Graph ウィンドウをただクリックドラッグするだけで動かすことができます。



### ズームボタン

選択するとより詳細なズームメニューが表示されます。

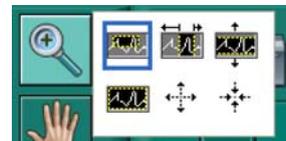


### 印刷ボタン

選択すると表示画面が印刷されます。

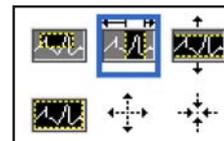
## ズームウィンドウ

ズームのための特定のウィンドウを選択します。グラフウィンドウをクリックして目的の位置までドラッグすることで特定のズームができます。



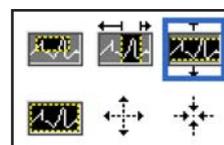
## 水平ズーム

水平方向にウィンドウを広げます。予想外のスパイクを調査するのに便利です。垂直方向は変化しません。



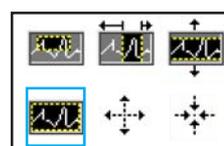
## 垂直ズーム

垂直方向にウィンドウを広げます。値の小さな変化を詳細に調査するのに便利です。水平方向は変化しません。



## グラフ全体ズーム

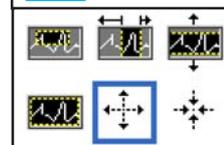
グラフ全体を表示します。表示されているグラフにあうように自動的に垂直方向のスケールを決めます。



## ズームイン

ワンステップ拡大機能。Graph ウィンドウ上のカーソルのある位置を拡大します。

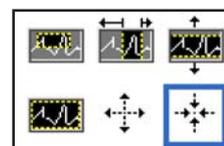
垂直方向、水平方向ともに拡大されます。



## ズームアウト

ワンステップ縮小機能。Graph ウィンドウ上のカーソルのある位置を縮小します。

垂直方向、水平方向ともに拡大されます。



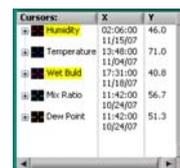
## グラフ選択リスト

グラフ表示されたポイントの名前、ユニット、色をすべて表示します。単位は RH520 の設定により決定されます。個々のグラフはトレース左のボタンのクリックで不使用にできます。



## カーソルデータボックス

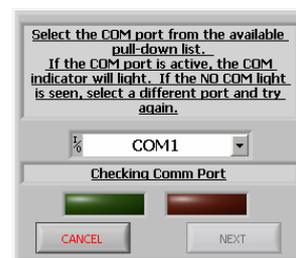
パラメーターカーソルポイントのデータの値と時間を表示します。



## 7 データのダウンロード

- a. ユニットを PC に接続します。(付属ケーブルを使用)
- b. **DOWNLOAD DATA** をクリックします(ウィザードが開始されます)。
- c. 最初のウィザードウィンドウ(**COM PORT** 選択)

**Select the COM port from the available pull-down list**  
**If the COM port is active, the COM indicator will light. If the NO COM light is seen, select a different port and try again.**



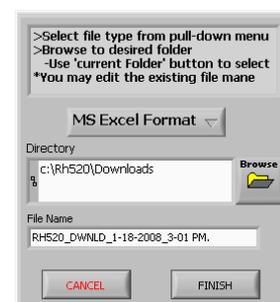
1. **COMPORT** を選択するとアプリケーションが接続を確認します。(10 秒間隔)。
  2. **RH520** が特定の **COMPORT Port** を見つけると、**NEXT** ボタンが使用可能になります。
- d. 2 番目のウィザードウィンドウ(サンプルレート選択)

**IMPORTANT!**  
**Enter the RH520 programmed sample rate**  
**The sample rate can be displayed by simultaneously pressing <TIME> & <VIEW> on the unit**



1. サンプルレートを正しく入力することが重要です。サンプルレートはデータをログするとき使用されるインターバル時間です。このレートは装置の **VIEW** ボタンと **TIME** ボタンを同時に押すことで判ります。プログラムはプログラムのダウンロード時のサンプルレートでまずは動きます。
  2. サンプルレートにゼロ以外の数値が入力されると、**NEXT** ボタンが使用可能となります。
- e. 3 番目のウィザードウィンドウ(ファイルタイプ、名前、および位置)

1. プルダウンメニューからファイルの種類を選択します。  
**Microsoft Excel(.xls)**かタブ区切りのテキストファイル(.txt)
2. ディレクトリを選択します。  
手動入力でもブラウザでも可能です。  
ディレクトリが存在しない時は、ソフトウェアが作成します。
3. ファイル名  
アプリケーションは自動的にファイル前を作成します。ファイル名はコンピュータのシステム日付と時間によります。  
ファイルネームボックスで直接ファイル名を変更できます。



## 8 保存データのオープン

- a. **OPEN FILE** ボタンをクリックします。
- b. ファイルブラウザウィンドウが表示されます。
- c. 目的のファイルまで移動します。(デフォルト:C:\Rh520\Downloads)
- d. 目的のファイルを選択します。
- e. **OK** をクリックします。

## 9 USB コンバータ

USB コンバータとソフトウェアは **RS232 COM** ポートのない **PC** 用に提供しております。コンバータをご使用の際には、PCに残っている古いドライバーによるトラブルを避けるためにもディスクのドライバーをインストールすることをお勧めします。(付属 CD-ROM内に **USB/Serial Drivers** があります。)

**Copyright © 2008 Extech Instruments Corporation**

All rights reserved including the right of reproduction in whole or in part in any form.